

# 地域医療薬局学講座セミナー

## 第24回 「節薬」のノウハウとその成果

日本の年間の国民医療費は38兆円を超えており、医療費の削減は大きな課題となっています。平成24年度の調剤報酬改定で、残薬の確認が薬局薬剤師に求められました。

今回は、福岡で「節約バッグ運動」に取り組み、成果をあげている九州大学の島添先生に、その取り組みについて講演をして頂いた後、ワークショップ形式で残薬調整について議論します。ぜひ、ご自身の薬局の参考にして行きましょう。

### <セミナー内容>

- ① 講演: 節約バッグ運動 ~その契機と経過、そしてこれから~
- ② ワークショップ: 残薬調整の啓発・今後(薬剤師力を市民にアピールする)

座長: 鍋島 俊隆(名城大学薬学部 地域医療薬局学講座 特任教授  
NPO法人 医薬品適正使用推進機構 理事長)

講師: 島添 隆雄先生

(九州大学大学院 薬学研究院 臨床薬学部門 医療薬科学専攻)

小柳香織先生 (一般社団法人福岡市薬剤師会節約バックWG委員長)

三井所 尊正先生 (一般社団法人福岡市薬剤師会理事)

日時: 平成26年6月1日(日)  
14:00~17:00  
(受付13:30~)

会場: 名城大学八事キャンパス6号館  
3F「63教室」

※公共交通機関でお越し下さい。

セミナー参加費用 **無料**

※薬剤師の方には(財)日本薬剤師研修センターの研修受講シール2単位を授与致します。(3時間受講した方)



お申し込みは、地域医療薬局学講座ホームページ「セミナー案内」から

<http://www.ccp-koza-meijo-u.jp/seminar>

地域医療薬局学

検索

問い合わせ先: 名城大学薬学部 地域医療薬局学講座

TEL: 052-839-2756

主催: 名城大学薬学部 地域医療薬局学講座

共催: NPO法人 医薬品適正使用推進機構